



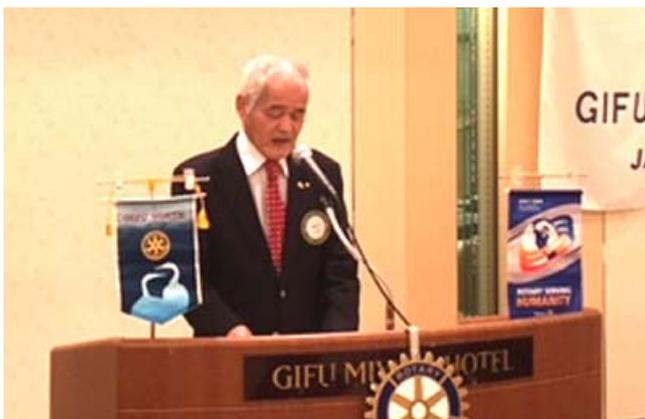
岐阜北週報

11月 ロータリー財団月間

□ 題 字	安藤 武司	□ 会 長	安藤 武司	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	小泉 宣昭	2016-2017
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	波多野光裕	No.1652
		会報委員長	白井 毅子	16.11.09発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1651 回 例会 11/2 (水) 慶祝行事 クラブフォーラム (5) 定例理事会 担当：R財団委員会	第 1652 回 例会 11/9 (水) 卓話 (2) 100万\$ 担当：山口会員	第 1653 回 例会 11/16 (水) 卓話 (3) 100万\$ 担当：白井・森本会員

会長挨拶



10月29日(土)に第37回若松学園祭が開催されました。当日は秋晴れの晴天に恵まれ、多くの方が参加されました。当クラブも8名の会員の方が参加されました。ありがとうございました。

今月は、ロータリー財団月間であります。国際ロータリーのカルヤン・バネルジー管理委員長の記事がありましたので一例の紹介をさせていただきます。

ロータリアンで、USAの印刷業で成功されたカール・サンダー氏は読み書きができませんでした。これを恥、周囲には隠していました。非識字は貧しい国の問題で、「アメリカの問題では無い」と思われていました。しかし基本的な読み書きの能力の無い人が数百万人いるとのこと。世界には、7億5,000万人以上います。R財団ではグローバル補助金8億4,000万円を授与し世界中で基本教育と識字率向上

会長挨拶 続き

プロジェクトを支援しました。ガーナの学校へはパソコン、学用品を寄贈しました。個々の国々への「教育支援事業」をし、12億人のインドでは、識字率約75%で特に女性を対象に活動を始めました。このような人々が世界では支援を求めています。R財団は今後も支援していますが、多くのロータリアンの参加により、多く達成できます。皆様のご支援を、今後も宜しくお願いいたします。

出席報告

会員数：29名
 出席数：22/29名
 出席率：75.86%
 欠席者：7名 (出席免除 1名 79.31%)

慶祝行事 (敬称略)

1. 会員誕生日のお祝い
11月28日 小島 正三 会員
2. ご夫人誕生日のお祝い
11月 5日 前田 澄子 様
11月30日 小椋 かつ代 様
3. 結婚記念日のお祝い
11月12日 小島 正三 会員
11月23日 安藤 武司 会員
11月25日 竹村 博之 会員

ニコニコBOX（敬称略）

安藤 武司：今月はイベントで神田町通りで、焼きそばを焼きます。皆様おいでください。

河村 訓陸：今日も元気で！！

竹村 博之：結婚記念日を祝って頂いて有難う。

委員会・同好会報告事項

- ・青少年奉仕委員会より
11/13（日）RCカップバレーボール大会4年生の部表彰が岩野田小学校で14時予定で有ります。
駐車場はJA駐車場をご利用ください。皆様の参加をお願いします。

幹事報告事項

本日定例理事会が有ります。

例会行事（敬称略）

クラブフォーラム R財団委員会 岡田委員長



こんにちは。

今月はロータリー財団月間という事で、財団委員会のクラブフォーラムです。担当は、小椋先生と私です。よろしく願いいたします。

実は、年間プログラムを見て頂ければわかりますが、今月の最終週が私と松野さんの卓話になっていました。その日に「財団の話をする方がいいな！！」って考えて何も用意をしてなかったんです。卓話は松野さんにお任せするとして、今日の財団の話は一夜漬けの内容ですので間違っている点も多いかと思っておりますので、どしどし訂正の発言をして頂きますようお願いいたします。

ロータリー財団は先程見て頂いたように、1917年にアーチ・クランプ国際ロータリー会

例会行事（敬称略）続き

長が「世界でよい事をしよう」と基金の設置を提案したことに始まります。

財団の使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにする」ことを目指しています。

「世界でよい事をしよう」の言葉は、財団の標語として今日まで使われています。

先程見て頂いたDVDはロータリーの活動の一部分です。その活動資金を集め、適正に配分・使用されるようにする事が財団の仕事だと考えています。ロータリー財団は皆様からの寄付を世界中の人々への奉仕活動に役立てています。ロータリアンの世界的なネットワークを通じて寄付金、補助金がロータリーの奉仕活動に活用されています。

皆さんからの寄付金は「国際財団活動資金」「地区活動資金」に分配されます。国際財団活動資金は国境を越え多くの国のロータリークラブの奉仕活動に使われます。ポリオプラスもその一つだと考えますが、今では「使途指定寄付」に分類されポリオ絶滅のために使われています。

私たち北クラブが補助を受けた「稚アユの放流」「ロータリーカップ・バレーボール大会」の補助金は財団の「地区活動資金」から補助されたと思います。

さて、例年ですと地区の財団の委員長や委員の方をお招きして「ロータリー財団月間」にふさわしいお話をお聞きしていますが、皆さん仰られる事は「寄付をして下さい」「補助金を使って活動してください」の二つだと思います。今年度は釧田ガバナーから「年次寄付は会員一人当たり150ドル」「ポリオプラス寄付は30ドル」を目標にしてくださいとの要請？話？がありました。その他に北クラブからは毎年お一人の方にベネファクターになって頂いて1000ドルの恒久基金寄付をお願いしております。私たちが寄付したお金が世界で健康・平和・教育等の維持に使われることは素晴らしい事だと思います。只、先程申しましたように、財団からは「補助金を使って地区で活動して下さい」との言葉も受けています。

北クラブでは若松学園を援助していますし、城北高校のインターアクトクラブも援助しています。その他にもあったかな？

財団から地区資金の補助を受けるにはいろいろな制約？があります。恒久的な活動はダメ、総金額の最大50%までの補助、過去3年間の寄付の割合等です。

例会行事（敬称略） 続き

最近は会員の減少で若松学園、インターアクトクラブへの補助金も減っているのが現状だと思います。私がインターアクトの委員長の時に「韓国へ行きたいという生徒がいたらどうしよう」と思いましたし、三重県でインターアクトの大会があったら費用はどうしようと毎年委員長さんが悩まれているのが現状ではないかと思いません。

例会の食事が100万ドルでも我慢しましょう。夜間例会、クリスマス例会の会費も仕方ないかと思えます。只、財団に一人当たり150ドルを寄付するのなら、北クラブの奉仕活動に使ったらと思ひ今日皆さんのお考えを聞きたいと思えます。

今年度の岐阜Aグループの寄付目標額は一人100ドルが3クラブ、150ドルが2クラブポリオプラスへの寄付額は岐阜クラブがクラブとして100ドル、一人10ドルが2クラブ、30ドルが2クラブです。

又、地区内では年次寄付は一人150ドル、ポリオは30ドルを目標にお願いしますとの連絡だけで個人の意思でと言うクラブもあると聞いています。

寄付はあくまでも個人の意思です。

北クラブは毎年皆さんにご理解・ご協力を頂いて、全員がガバナーの要請通りの金額を寄付しています。今年度も、全員でガバナーの要請通りの寄付をした方が良いのか、財団への寄付をやめて北クラブ独自の奉仕活動に使用した方が良いのか悩みました。皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

只、ガバナー補佐、将来ガバナー、IR会長、輩出も考えますと「北クラブは財団に寄付をしていない」と言われる事も懸念します。

次回例会のご案内

第1653回 例会 11月16日（水）
卓話（3）
100万\$

担当者：臼井・森本会員

会報・広報 11月担当 小泉 宣昭